

## 5章 水道事業の課題のまとめ

3章、4章で示した本市の水道事業における課題（現状、将来、アンケート分析結果）について、新水道ビジョンにおける『安全』『強靱』『持続』の三つの観点で整理したものを表-5.1、表-5.2、表-5.3に示します。

表-5.1 新水道ビジョンの「安全」・「強靱」・「持続」に関する  
本市水道事業における課題一覧（現状の課題）

現状の課題		課題に該当する視点		
課題No	頁	安全	強靱	持続
課題No	頁	水源		
No 1	23			●
課題No	頁	取水・導水・浄水・送水施設		
No 2	24			●
No 3	27		●	
No 4	27		●	
No 5	27		●	
課題No	頁	配水施設		
No 6	29		●	
No 7	29		●	
No 8	32		●	
No 9	32	●	●	
No 10	32			●
No 11	32			●
No 12	32		●	●
課題No	頁	給水装置等		
No 13	35	●		
No 14	35	●		
No 15	35	●		
課題No	頁	水質管理		
No 16	38	●		
課題No	頁	危機管理		
No 17	39	●	●	
No 18	39	●	●	
No 19	39	●	●	
No 20	39	●	●	

●…課題が該当する3つの視点

現状の課題			課題に該当する視点		
課題No	頁		安	強	持
組織体制と経営改善の取り組み					
No 21	43	◆将来を見据えた人材配置の適正化や更なる事業効率化の推進が必要です。			●
No 22	43	◆水道全般の効率性を示す指標値(職員一人当たり給水収益及び配水量)の向上に向けた取り組みが必要です。			●
No 23	43	◆配水管の管理や漏水調査等(配給水)の直営実施については、事業の経済性・公共性を担保しつつ人材育成や技術継承の観点や、経営基盤強化を踏まえた見直しの検討が必要です。			●
No 24	47	◆民間への委託範囲の拡大や、さらなる事業効率化の推進が必要です。			●
No 25	47	◆窓口サービスの市民からの信頼や利便性を向上させるため、市民ニーズを把握するとともに、更なる総合的な市民サービスの向上を図る必要があります。			●
経営の状況					
No 26	52	◆人口減少に伴い、将来世代への負担を軽減させるためにも、企業債残高を計画的に減らしていく必要があります。			●
経営指標による分析					
No 27	59	◆本市の経営指標は概ね全国類似団体平均値と同等ですが、流動比率や管路経年化率は全国類似団体平均値より低い数値であるため、経営改善の検討や計画的な管路更新の継続実施により事業経営の健全化に努める必要があります。			●
市民との連携					
No 28	60	◆さまざまな機会をとらえ、水道水のイメージアップを図りながら、水道水に対する信頼性向上の取り組みに努める必要があります。	●	●	●
No 29	60	◆水道事業についての情報の発信と市民ニーズの把握に努め、水道事業をより身近に感じ、関心を持ってもらえるよう、広報啓発の充実を図っていく必要があります。	●	●	●

●…課題が該当する3つの視点

表-5.2 新水道ビジョンの「安全」・「強靱」・「持続」に関する  
本市水道事業における課題一覧（アンケート分析結果から見える課題）

アンケート分析結果から見える課題			課題に該当する視点		
課題No	頁		安	強	持
水道利用者アンケート					
No 30	70	◆水道水をそのまま飲んでいない方の割合は飲んでいる方に比べて20%以上低いいため、水道水が安全であることを広報等で周知し、飲用度の向上に努める必要があるといえます。	●		●
No 31	70	◆水道水の飲用度にかかわらず、水道事業において知りたい情報として「水道水の水質」を選んでいる人が多いため、認知度が高い広報おおむたや企業局HP等の充実化を図り、水道事業の適切な情報提供が重要であるといえます。	●		●
No 32	70	◆災害時の飲料水、生活用水の備えを何もしていない意見が多いため、水道水の安全性を周知するとともに、災害時に備えた水道水の備蓄等、積極的な啓発活動が重要であるといえます。	●		●
No 33	70	◆水道事業の重要度では、「安心して飲める水道水の供給」、「いつでも水が使えること」、「地震等の災害に強い水道施設」の比率が80%以上と高いことから、安心かつ安全に災害時にも水道が使用できる水道システムの構築がニーズとしてあげられます。	●	●	●
No 34	70	◆水道事業全般における満足度評価では、不満及びや不満の意見の合計が「おいしい水の供給」で11%(482件中53件)、「安心して飲める安全な水道水の供給」で9%(482件中45件)、「経費削減など水道事業経営の効率化」で10%(482件中49件)、「利用者への十分な広報、情報提供」で9%(482件中41件)であり、水質管理及び事業経営の効率化の向上や利用者への情報提供の強化が必要です。	●	●	●

●…課題が該当する3つの視点

表-5.3 新水道ビジョンの「安全」・「強靱」・「持続」に関する  
本市水道事業における課題一覧（将来の課題）

将来の課題		課題に該当する視点		
課題No	頁	安全	強靱	持続
		給水人口・給水量の将来見直し		
No 35	72			●
		水運用の見直し		
No 36	73			●
		施設の効率性		
No 37	75			●
No 38	75		●	●
No 39	75		●	●
		資産管理による更新需要の見直し		
No 40	83		●	●
No 41	87		●	●
No 42	87			●
		老朽管更新事業の取り組み		
No 43	91		●	●
No 44	91			●
		経営基盤強化の取り組み		
No 45	92			●
No 46	93			●
No 47	93			●

●・・・課題が該当する3つの視点